

## ～製作活動 ももの節句 ひな飾り作りの報告～

今年は桜の開花が東京でも3月18日頃の予想となっています。

3月も2週目に入り気温が高い日が続き、予想通りの開花となるかもしれません。

さて、ほのぼの堀之内では、2月末から、季節の製作活動として、ご利用者の方々とひな飾り作りを行いました。

昨年は予め切ったパーツを選んで頂き、貼って頂いたのですが、今年はパーツ作りからご利用者と一緒に行っています。

パーツを切り出す為の型紙は職員の方で作成をしたのですが、その型を色画用紙や千代紙に当てて、えんぴつで線を引き、線に沿ってハサミで切り取り、好きな色を選んで頂き、順番に糊付けしていきました。

工程数も多かった為、数日に分けて実施しています。

ご利用者によっては線を引いたり、切る事が難しい方もいらっしゃった為、そういった部分は得意なご利用者をお願いして製作しています。

パーツを貼り終わると最後は人形の顔に髪や目と口を書き加え完成です。完成予想図を見ながら作成をしたのですが、実際に自分の手で作品が完成すると、隣のご利用同士、お互いの作品を見せ合って「可愛らしいですね～」「こんな事しましたね～」と自然と会話が生まれていました。



## ～ひな祭り 回想法の報告～

ひな飾り作りは午前中に実施して、当日午後からは作った作品を見ながら回想法を実施しています。2月下旬からは事業所の中にもひな人形を飾っていたので、そういった物や昭和20年～30年頃のひな祭りの様子を写した白黒写真・ひなあられ、ひしもち、桜餅等ひな祭りを連想させるような画像を用意して見て頂くと、ひな飾りを作っている時は皆さん集中していたので、そういった思い出話はあまりされませんでした。ゆっくりとした時間にこういった物を見ながら職員

がたずねると、皆様の思い出話を聞かせて下さいました。  
「桜餅って関西では道明寺っていうのよね？」  
「ひなあられも関東と関西では違うみたいですよ？」  
「娘が生まれた時に親が送ってくれたわね～」  
「今も押し入れに入っている」と言った、地域による風習の違いや、それぞれ思い出されたお話を懐かしそうにされていました。

普段口数が少ない方であっても、こういったきっかけがあると、記憶が蘇る方もいらっしゃいます。お話しをされている時の皆様の表情がとても生き生きしていたのが印象的でした。



## 今後のマスクの着用について

日頃より、感染症対策にご理解、ご協力頂きありがとうございます。  
昨今の報道で既にご存知の事と存じますが、新型コロナウイルス感染症も新規感染者が減少傾向にある中で、国の新型コロナウイルスの取り扱いも今年5月8日から5類に分類される見通しとなり、それに先立ち、3月13日からマスクの着用が個人の判断に委ねられる事になります。当事業所としましては今後も従業員のマスク着用及び、健康観察、共用部の消毒や換気等の対応は引き続き行って参ります。  
分類は変更となりますが、高齢者や基礎疾患がある方の重症化リスクに変わりはありませんので、その点をご理解の上、デイサービスにいらっしゃる際は、ご利用者・ご家族様もマスク着用のご協力をお願い致します。

今後の感染状況によっては対応に変更が生じる場合もございますので、その際は改めてお知らせ致します。